



第73号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
TEL.<0531>22-2622 FAX.<0531>22-2625

世界の料理教室

参加者
募集

- 🕒 日 時 1月30日(日) 10時00分～14時00分
- 📍 場 所 田原福祉センター2F 栄養指導室
- 👤 募集人数 25名(定員になり次第締め切ります)
- 👤 講 師 アサンギさん(スリランカ)
- 👤 会 費 1,000円



(前回世界の料理教室ペルー料理と中国料理を習う様子)

お伊勢参りとおはらい町散策 ー第3回 多文化研修会ー

市内在住の外国人の方とともに、お伊勢参りとおはらい町の散策を楽しみながら日本の文化に触れてみませんか。

- 📅 日 時 2月13日(日)
- 👤 募集人数 180名(先着順) 大型バス4台
- 👤 会 費 大人 5,000円 子供(小学生以下) 2,000円 子供のみ参加不可
- 👤 申込方法 申込書に記入し、代金を添えて1月20日までに事務局へ申し込んでください。



(平成22年2月14日 多文化研修会IN 奈良 ～遷都1300年祭～)

※イベント申込み、問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ

市民まつりはチヂミで交流!

10月24日(日)、田原文化会館一帯で「田原市民まつり」が行われました。

TIAは、「世界を知ろう」と題したクイズに答えてもらったり、チヂミを焼いて会員や市民の皆さんと交流しました。特に、その場で出来たてを食べられるチヂミは大好評で、事務局に訪れた方々と一緒に作りながら食べると会話ははずみ、一日中楽しむことができました。



好評のうち終了しました

◎初級韓国語教室

10月2日から全6回、韓国人のベク・スンミンさんによる初級韓国語教室が行われました。25名の受講者は毎回時間を延長して学ぶ熱心さで、来年も必ず来ます!と意欲を見せていました。



◎シニア初級英会話教室

10月6日から隔週水曜日に全6回、シニア英会話教室が行われました。講師は田原市在住のヤディーラさんで、「英語は簡単よ、日本語の方が難しいですよ」と30名の受講者と一緒に、身近で使える楽しい英語を学びました。

異文化交流会 天野庵代表による手打ちうどん交流会

〈平成22年11月7日(日) 10時～13時 福祉センター・栄養指導室〉

食欲の秋真っ只中、天野庵代表こと天野事務局長を講師に招き手打ちうどんの講習会を開催しました。



事務局内では知る人ぞ知る天野事務局長の多才ぶりではありますが、天野家では「外でうどんを食べる気がしない」ほどの手打ちうどんの腕前を披露し、伝授してもらいました。

前評判を聞きつけてか募集人数を大幅に上回る28名の参加があり、天野講師はじめスタッフ一同嬉しい悲鳴を上げていました。参加者は、会員のみでなく田原市在住の外国人、

ちょうど渥美農高に訪中のオランダからの留学生、小さい子供連れの若いお母さんなど多岐にわたっていました。

まず始めに、一通り説明を受けた後、各グループで手順どおり粉をこね始めました。中国人の奥様方は餃子の皮作りで慣れているようで、講師の説明もそこそこにどんどん進めていきましたが、早くからこね過ぎて生地が硬くなり、伸ばすのが大変だったり、別のグループでは足で激しく踏みすぎてビニールの袋が破れてしまったり…。あちこちで悲鳴や歓声があがり講師は大忙しでした。最後の試食ではみんなとても満足したようでした。その後、参加者の何人かは我が家で成果を披露し病みつきになりつつあるとか…。大変有意義な、ひと時でした。(みなさんお疲れ様でした。)



第3回 日本語理解講座 ～にほんごで語ろう～

去る11月21日(日)、田原文化会館において、～にほんごで語ろう～スピーチコンテストが行われました。在住外国人の方々が、「日本ってこんな国」をテーマに、一生懸命自分の思いや経験を発表してくれました。入賞された5名の皆さんは以下の通りです。

会長賞	川合 豪さん (中国)
事務局長賞	河辺玲子さん (中国)
にほんご教室賞	山田ゆきさん (中国)
敢闘賞	チャン・ヴィン・フーさん (ベトナム)
努力賞	城間フェリペ盛茂さん (ブラジル)



また本年4月にTIAの市民海外派遣でアメリカを訪問したメンバーによる研修報告もありました。田原市とジョージタウン市の姉妹都市提携20周年の成果溢れる大交流団の様子が伝わりました。

コンテスト終了後はお茶菓子で和やかなひとときを楽しみました。来年はぜひスピーチしたい!聞きたい!と思う方、お待ちしております。

クリスマスパーティー

12月11日(土) 田原中部市民館
クリスマスパーティーにたくさんの方が集まりました。

TIAでは例年、田原に住んでいる外国人、ホームステイなどでお世話になった家族などを招いて、会員との交流、親睦を目的に手作りのクリスマスパーティーを続けてきました。

2008年に、TIA会員以外の方にも楽しんでもらおうと、ブリッジを通じて広く呼びかけたところ、大勢の申し込みがあり好評だったため、今年も誰でも参加できるパーティーにしました。

当日は、大人88名子供18名の参加があり、それぞれに手渡されたクラッ



カーの音でパーティーが始まりました。クッキーのぶら下がったクリスマスツリーのある会場で、「口まねハンドベル」「割り箸魔術」が笑いを誘い、ビンゴゲームで手に汗。TIAメンバーが扮したサンタクロース、和服姿、プーさんの着ぐるみ等が会場を楽しい雰囲気してくれました。

また、参加者有志らで作ったお国自慢の料理もテーブルに加えられ、いろいろな味を楽しむことができました。

第一回 中国だより



〈中国に行く前は「にほんご教室」のメインスタッフとして活躍されていた齊藤康治さんが近況を報告してくれました。〉

私は今、中国山東省威海市の中にある「文登市」というところに住んでいます。地図で探すなら、山東半島の先っぽを見てみれば、直ぐに見つかると思います。渥美半島と同じ感覚でみると、すぐそこに海があるように感じるかもしれませんが、実際に私の住んでいる市の中心から海までは30kmぐらいありますから、住んでいる感覚は内陸にいるようです。

文登市の面積は1645平方kmで35の民族、約65万人が住んでいます。土地の殆どは農業用地で延々と続くトウモロコシ畑（冬には麦）は北海道を彷彿させます。緯度が仙台と同じくらいなので、田原よりかなり寒いのです。10月中旬にはほぼ冬装備です。

私は2010年7月29日に文登市にやって来ました。中国で日本語を教えるためです。私のような立場の人は中国ではとても珍しいのでしょうか、歓迎ムードは4カ月経った今でも続いていて、頻繁に会社の人や友達に誘われて、御馳走を食べに行きます。というか、お酒を飲みに行きます。知っている人もいるかと思いますが、中国には「バイチュウ（白酒）」という非常に強いお酒があって、この「乾杯攻撃」を受けるので、気持ちは嬉しいのですが、身体はとってもキツイイです（とほほ）。

食べ物はやはり海が近いこともあって海鮮が豊富です。刺身はさすがにありませんが、あさり、蟹、海老、魚等は日本と変わらず美味しいです。主食は小麦で、うどんとか水餃子とかマントウ（具のない硬めの蒸しパン）をよく食べますが、米もあります。ですから食生活は日本とあまり変わりありません。とは言ってもやはり違いはあります。実は虫をよく食べるんです。蚕とか蟬の幼虫とかサソリとか…。味はいいですよ。同じ人間が食べている物ですからね。でもねー、いくら栄養があるんだって言われても、やっぱり見た目はなかなかすごいですよ。

市の中心はとても狭いエリアで、繁華街の規模は豊橋の駅周辺と同じぐらいです。この小さなエリアにデパートやスーパー、飲食店等が集中していて、買い物はとても便利です。本当に安い物から高い物までよりどりみどりで。同じような店が何10軒も軒を連ねていて、密度が濃い感じですよ。そして毎日お祭りのように人が沢山います。ですから、当然街は活気に満ち溢れ、人の声、車のクラクション、結婚式や新装開店を知らせる爆竹の音がごちゃごちゃになっています。

静かな渥美半島とは随分暮らしが異なりますが、そこに住む人々は街の人も農村の人もとても親切で、渥美半島の人々と変わりありません。最後にこの場を借りまして、私を支えて下さっている方々にお礼を言わせて頂きます。いつもありがとうございます。



書き損じはがき回収キャンペーンにご協力ありがとうございました

「書き損じはがき」のポストを1年ぶりに開けて回収しました。

各所の収集枚数は下のとおりです。

今年も、貧困など様々な理由で世界中の教育を受けられない子供達が学校に行く為のお手伝いが出る様、名古屋国際センター世界寺子屋運動名古屋実行委員会へ送ります。

回収ポストは常時設置してありますので引き続きご協力をお願いします。

ショッピングパオ北側入口	209枚
田原市役所玄関	14枚
T I A 事務局	374枚



編集後記

TIA 設立 20 周年、姉妹都市ジョージタウン市との交流も 20 周年を迎え、昨年はさまざまな行事が行われました。

田原市在住の外国人の数も増え、TIA の活動も変わりつつあります。明けた 2011 年はどんな活動ができるでしょうか。ブリッジでそれらをお伝えすることを楽しみにしています。

最近、竹内まりやさんの「人生の扉」をよく聴きます。すべての詩が素敵で心に沁みます。一度じっくり聴いてみてください。英語の詩も意味深いですよ。

(M)